

LED投光器[屋内プール用] (防湿型・防噴流型・耐塵型)

器具品番 ※1	明るさ相当	配光	器具質量 (kg)	光源色 (色温度)	演色度	適合オプション ※2	
						前方カッターバ	後方カッターバ
NYS (NYSH) 36435KLE2	マルチ ハロゲン灯 1000形相当	中角タイプ	7.5	昼白色 5000K	Ra70	NYK43065	NYK43066
NYS (NYSH) 36445KLE2		広角タイプ	7.3				
NYS (NYSH) 36455KLE2		拡散タイプ	7.2				
NYS (NYSH) 36235KLE9	マルチ ハロゲン灯 400形相当	中角タイプ	5.6				
NYS (NYSH) 36245KLE9		広角タイプ	5.5				
NYS (NYSH) 36255KLE9		拡散タイプ	5.5				
NYS (NYSH) 36135KLE9	マルチ ハロゲン灯 250形相当	中角タイプ	5.3				
NYS (NYSH) 36145KLE9		広角タイプ	5.2				
NYS (NYSH) 36155KLE9		拡散タイプ	5.2				

※1 上記()内は加工品番です。(上表の内容は標準品番の仕様です。以降、加工品番の記載を省略します。)

※2 取付方法は、適合オプションの取扱説明書をご確認ください。

・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

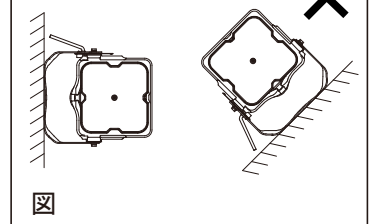
工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は施工説明書にしたがい確実に施工を行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 接地工事(D種接地工事)を確実に施工を行う。接続に不備があると感電の原因となります。【電気設備技術基準】
- 器具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 屋内プール用器具です。以下のような場所では使用しない。落下・感電・火災の原因となります。
 - ・直射日光のあたる場所、雨水のかかる場所、風のあたる場所
 - ・業務用浴室やサウナなど、常時高温・高湿度になる場所
 - ・振動や衝撃の多い場所
 - ・腐食性ガスの発生する場所
 - ・粉塵の多い場所
- 欠けやひび割れの発生しているパネルは使用しない。落下の原因となります。
- パネルに衝撃を加えない。パネル落下の原因となります。
- 施工作業を十分に考慮して造営材とのスペースを確保する。
密閉された空間では使用しないでください。
発煙・発火および器具の耐用年限が短くなる原因となります。
- 水平面・壁面(上下)・傾斜面および天井面に取り付け可能です。
但し、壁面(上下)・傾斜面取り付けの場合、横向き設置はしない。(図参照)
落下の原因となります。
- フィルタをゆるめたり、衝撃を加えない。浸水による感電・火災の原因となります。
- 器具の取り付けには必ずアンカーボルト(別途)と平座金(別途)、ばね座金(別途)、六角ナット(ダブルナット仕様)(別途)を使用する。
取り付けに不備があると落下の原因となります。
- 被照射面とは100cm以上離す。過熱による火災の原因となります。
- 落下防止ワイヤーは取付方法にしたがい、確実に取り付け。取り付けに不備があると器具落下の原因となります。
- シースの無い電源線接続箇所からシースの部分まで、全体を自己融着テープなど(別途)で巻いてから絶縁テープなど(別途)で処理し防水対策を行う。接続部は上向きとし、電線と電線の隙間から浸水しないようにする。
不備があると感電・火災・不点の原因となります。
- 単線とより線の直線接続(ねじり接続など)はしない。必ず専用工具で圧着すること。感電・火災の原因となります。
- 電源電線の接続は確実に施工を行う。接続に不備があると感電の原因となります。
- 口出し線を結線する際、アームなどの周辺部品に巻きつけない。
- 角度調整で灯具を動かす際、他部品にケーブルが挟まり、感電・不点の原因となります。
- 器具を既存の設備・金具へ施工する際、仕様や劣化状態を十分確認する。落下の原因となります。

壁面(上下)・傾斜面取り付けの場合
横向き設置不可



⚠ 注意

- 表示された電源電圧(定格電圧±6%)、周波数で使用する。
指定外の電源電圧・周波数で使用されますと感電・火災の原因となります。
- 電源線は600Vビニル絶縁ビニルキャブタイヤケーブルまたは600V二種EPゴム絶縁クロロプレンキャブタイヤケーブルと同等以上の性能を有するものをご使用ください。(3心ケーブル2.0mm²~3.5mm²、仕上り外径φ10~φ13)
連続調光加工品の場合、調光線はシールド付きのものでFCPEV相当φ0.9(または、φ1.2)をご使用ください。
指定外ケーブルを使用されますと浸水による感電・火災の原因となります。
- 周囲温度は、-10~35℃で使用してください。
不点・火災や器具の耐用年限が短くなる原因となります。
- 冠水のおそれのある場所では使用しないでください。感電の原因となります。
- 電源電圧が200V以上でご使用する場合、スイッチは必ず両切りスイッチをご使用ください。
片切りスイッチを使用された場合、ノイズにより消灯後も薄暗く点灯する場合があります。
- 電源電圧が100Vでご使用する場合、スイッチは必ず非接地側(電圧側)に取り付けてください。
スイッチを接地側に取り付けた場合、ノイズにより消灯後も薄暗く点灯する場合があります。
- 連続調光加工品の場合、0%に調光すると、ノイズにより消灯後も薄暗く点灯する場合があります。
必ず電源スイッチで消灯してください。
- 器具の取り付け・取り外しは手袋など保護具を使用してください。けがのおそれがあります。
- 使用を終了した製品は、放置せずに撤去してください。器具落下の原因となります。
- 器具の周囲に腐食しやすい金属製のものがない場所に設置ください。周囲の腐食物により、器具が腐食して器具落下の原因となります。

使用上のご注意

- ・始動時に突入電流(インラッシュ電流)が発生しますので、弊社製配線器具：T/U付6Aリレーユニットに接続する場合は右表を参照してください。

器具品番	100V	200V	242V
NYS36435KLE2, NYS36445KLE2 NYS36455KLE2	—	4台	4台
NYS36235KLE9, NYS36245KLE9 NYS36255KLE9	4台	5台	4台
NYS36135KLE9, NYS36145KLE9 NYS36155KLE9	5台	12台	10台

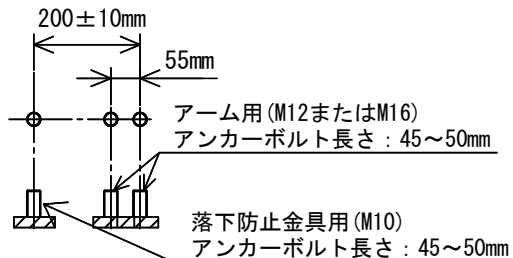
各部のなまえと取付方法

⚠ 警告

器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実に行う。
取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。

1 取り付け前の確認を行う

- ・器具質量の約10倍の質量に耐えるようにアンカーボルト(別途)をアーム取付用2本(M12またはM16)と落下防止金具取付用1本(M10)を用意してください。
不備があると落下の原因となります。
- ・器具の取り付け、取り外しは手袋など保護具を使用する。
けがのおそれがあります。
- ・器具可動範囲については「6 照射角度の調整」を参照してください。



取付ボルト設置図

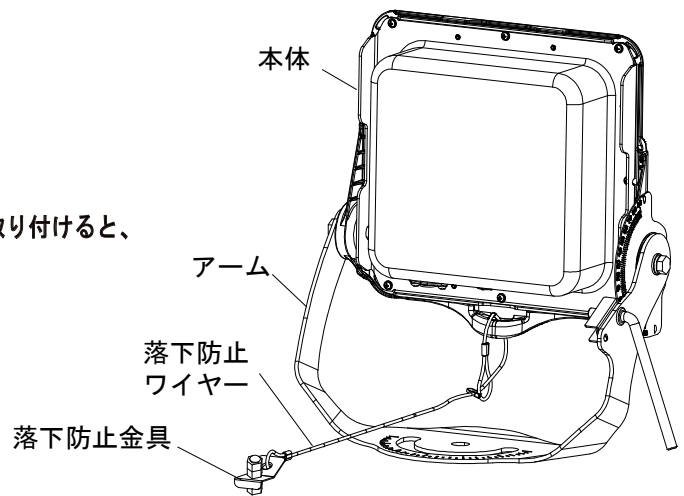
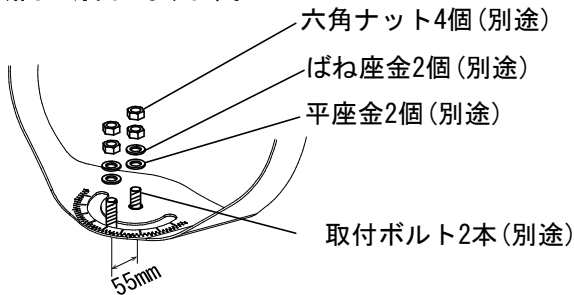
各部のなまえと取付方法(続き)

警告

器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実に行う。
取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。

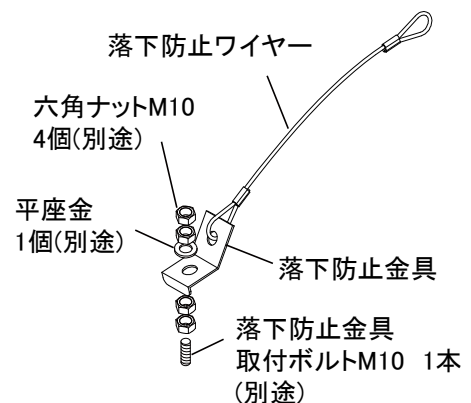
2 器具を取り付ける

- 器具の固定は、平座金2個(別途)、ばね座金2個(別途)、六角ナット4個(別途)を使用し、アーム用アンカーボルト：M12またはM16(別途)2本にアームをダブルナットにて確実に締め付けてください。
(推奨締め付トルク M12:42N・m、M16:106N・m)
不備がありますと落下の原因となります。
- 平座金は外径φ26以上を使用し、アームに平座金が十分にかかっていることを確認してください。
指定外の平座金を使用したり、平座金のかかりが浅い状態で取り付けると、**落下の原因となります。**



3 落下防止金具を取り付ける

- 落下防止金具の固定は、平座金1個(別途)、六角ナット4個(別途)を使用し、落下防止金具用アンカーボルト：M10(別途)に六角ナット2個(別途)を根本まで締め付け、落下防止金具を平座金(別途)、ダブルナットにて確実に締め付けてください。
(推奨締め付トルク M10:37N・m)
不備がありますと落下の原因となります。

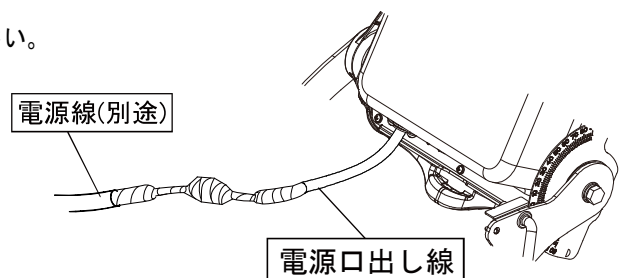


4 電源口出し線を接続する

- 電源線(別途)の外装シースを約100mmむく。
- 電源口出し線の接続は、スリーブ(別途)により確実にを行い、自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープ(別途)で処理する。
不備がありますと感電・火災・不点の原因となります。
- 電線を束ねて、シースの無い電源接続箇所からシースの部分まで、全体を自己融着テープなど(別途)で巻いてから絶縁テープなど(別途)を巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。
接続部は上向きとし、電線と電線の隙間から浸水しないようにしてください。
不備がありますと感電・火災・不点の原因となります。
- 口出し線の電源電線接続箇所に力がかからないよう張力止めを行うこと。
不備がありますと感電・火災・不点の原因になります。
 - D種(第3種)接地工事を確実にを行う。
 - 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと
 - 口出し線の種類 ビニルキャブタイヤケーブル
 - 電線の線径：2.0mm²

警告

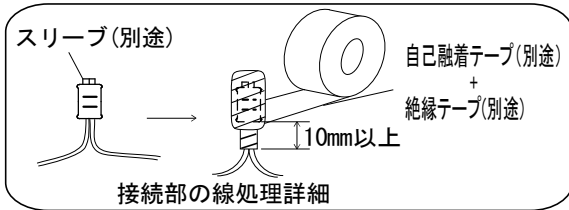
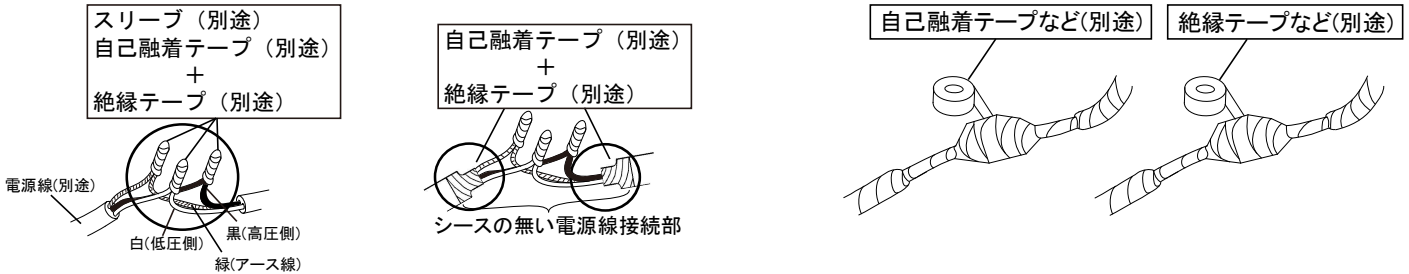
接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。



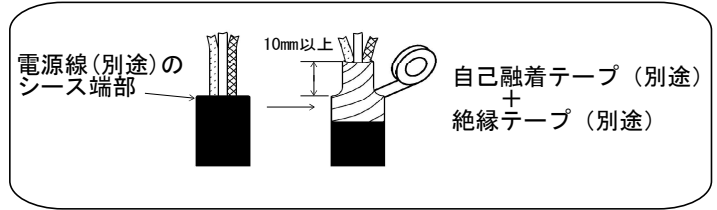
各部のなまえと取付方法(続き)

電源線と電源口出し線との接続方法

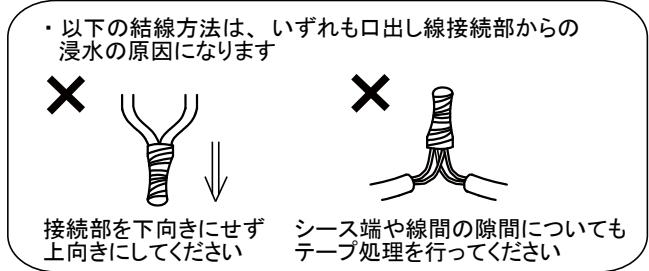
- ①スリーブ(別途)により接続後、自己融着テープ(別途)を巻き、絶縁テープ(別途)で仕上げてください。
- ②キャブタイヤケーブルの電線とシースの隙間から浸水を防ぐため、電源線(別途)と電源口出し線のシース端を自己融着テープ(別途)で巻き、絶縁テープ(別途)で仕上げてください。
- ③自己融着テープなど(別途)で巻き、絶縁テープなど(別途)で仕上げてください。



※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープ(別途)で処理する



※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープ(別途)で処理する



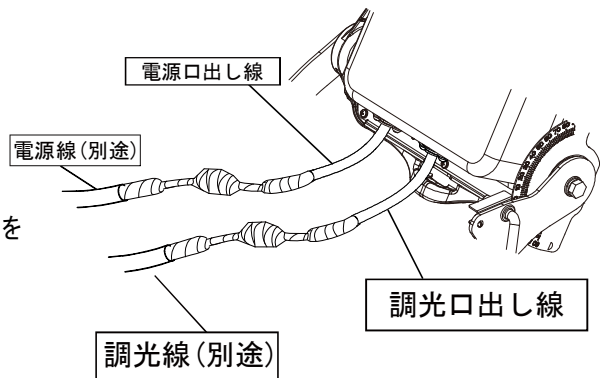
- ・電源線の接続が完了した後、連続調光加工品の場合は、「5 調光口出し線を接続する」の作業から、連続調光加工品でない場合は、「6 照射角度の調整」の作業を、それぞれ行う。

5 調光口出し線を接続する(連続調光加工品のみ)

- ・調光線(別途)の外装シースを約100mmむく。
- ・調光線は、FCPEV相当φ0.9(またはφ1.2)をご使用ください。
- ・調光口出し線の接続はスリーブ(別途)により確実にを行い、自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープ(別途)で処理する。**不備がありますと感電・火災・不点の原因となります。**
- ・調光線(別途)のシールド(またはドレインワイヤ)は調光口出し線のドレインワイヤと接続し、逆側のシールド(またはドレインワイヤ)を接地してください。
- ・電線を束ねて、シースの無い電源接続箇所からシースの部分まで、全体を自己融着テープなど(別途)で巻いてから絶縁テープなど(別途)を巻いて仕上げ、十分に絶縁・防水処理をしてください。**不備がありますと感電・火災・不点の原因となります。**
- ・口出し線の電源電線接続箇所に力がかからないよう張力止めを行うこと。**不備がありますと感電・火災・不点の原因となります。**

- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと
- ・口出し線の種類 シールド付ケーブル
- ・電線の線径: φ0.9

警告 接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。



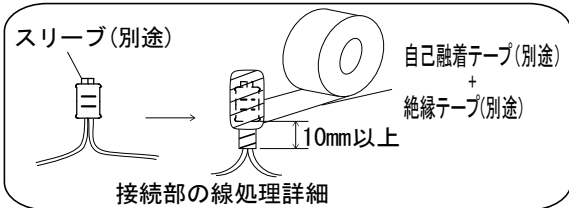
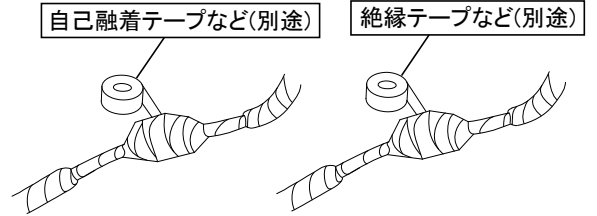
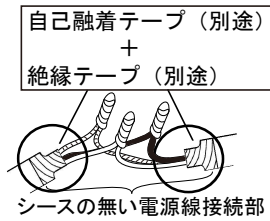
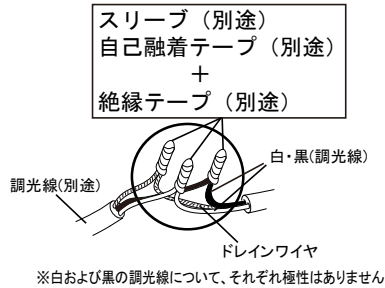
各部のなまえと取付方法(続き)

調光線と調光口出し線との接続方法

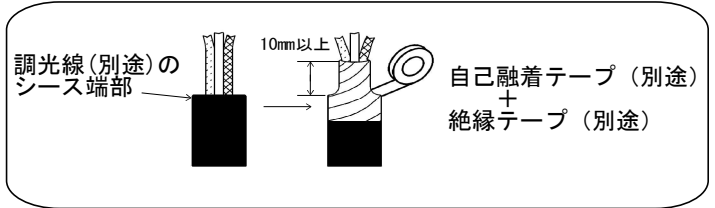
①スリーブ(別途)により接続後、自己融着テープ(別途)を巻き、絶縁テープ(別途)で仕上げてください。

②キャプタイヤケーブルの電線とシースの隙間から浸水を防ぐため、調光線(別途)と調光口出し線のシース端を自己融着テープ(別途)で巻き、絶縁テープ(別途)で仕上げてください。

③自己融着テープなど(別途)で巻き、絶縁テープなど(別途)で仕上げてください。

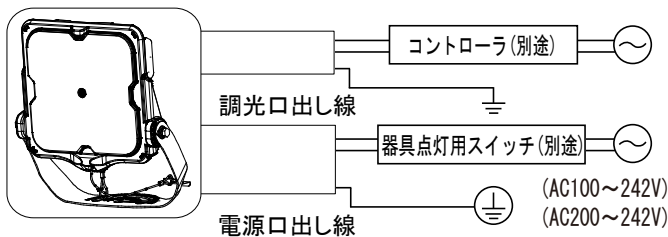
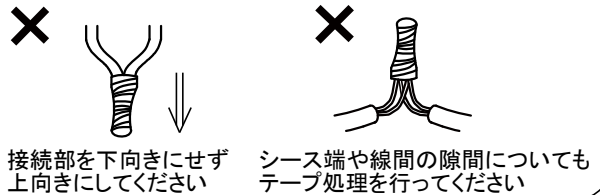


※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープ(別途)で処理する



※自己融着テープ(別途)を巻いて処理後、絶縁テープ(別途)で処理する

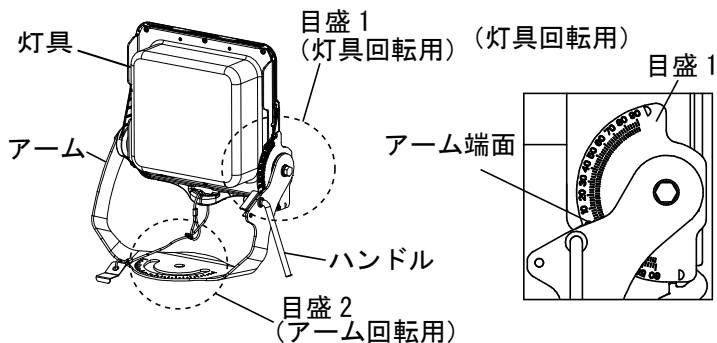
・以下の結線方法は、いずれも口出し線接続部からの浸水の原因になります



各部のなまえと取付方法

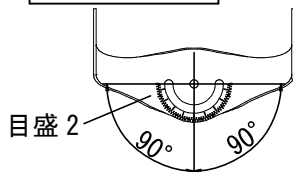
6 照射角度の調整

- ・ 灯具の回転角度調整は、灯具を手で支えながらハンドルをゆるめ、目盛1の角度に合わせた後、ハンドルを確実に締め付けて固定する。ハンドルをゆるめるときは、必要以上にゆるめないでください。ハンドル落下の原因となります。目盛1の目盛はアーム端面に合わせてください。ハンドルの締め付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。



- ・ アームの回転角度調整は、六角ナット4個(別途)をゆるめ、目盛2の角度に合わせた後、六角ナット4個(別途)をダブルナットにて確実に締め付け固定する。(推奨締めトルク M12:42N・m、M16:106N・m)締め付けが不完全な場合、器具落下の原因となります。

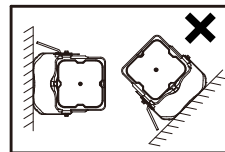
アーム回転範囲



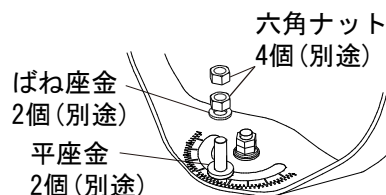
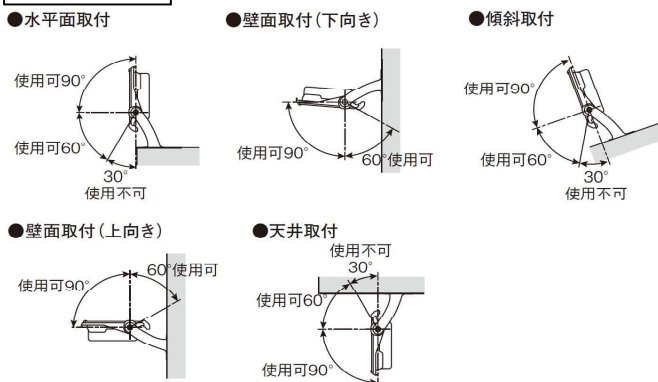
警告

器具の取り付けは、施工説明書にしたがい確実に行う。取り付けに不備があると器具の落下、感電・火災の原因となります。

壁面(上下)、傾斜面取り付けの場合、横向き設置はしない。落下の原因となります。



灯具回転範囲



取扱説明

お客様へ、この説明書は必ず保管ください。

安全に関するご注意

- ・ ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

警告

- 器具の改造および構成部品(LED、電源部など)の交換をしない。感電・火災の原因となります。
- 万一、煙が出たり変な臭いがするなどの異常が発生した場合、すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。感電・火災の原因となります。
- 欠けやひび割れの発生しているパネルは使用しない。感電・落下の原因となります。
- 器具にボールなどの飛来物が衝突した場合は器具の点検を行い、破損などが生じた場合、直ちに使用を中止する。落下・感電・火災の原因となります。
- 被照射物とは100cm以上離す。過熱による火災の原因となります。

注意

- お手入れの際には、必ず電源を切って器具が十分冷えてから行ってください。感電・やけどの原因となります。
- 殺虫剤などの引火物の噴霧は行わないでください。発火によるやけどのおそれがあります。
- 布や紙などの燃えやすいもので覆ったり、被せたりしないでください。発火の原因となります。
- 連続調光加工品の場合、0%に調光すると、ノイズにより消灯後も薄暗く点灯する場合があります。必ず電源スイッチで消灯してください。
- 器具の周囲に腐食しやすい金属製のものを置かないでください。周囲の腐食物により、器具が腐食して器具落下の原因となります。
- 照明器具には耐用年限があります。設置して10年※1経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をしてください。 ※1:使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・ LED光源は耐用年限が来て、暗くなりますが点灯し続けます。
 - ・ 点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
 - ・ 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは耐用年限が短くなります。
 - ・ 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・ 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
 - ・ 点検せずに長時間使い続けるとまれに落下・感電・火災などに至る場合があります。
 - ・ 点検を行っていても、耐用の限度を超えて使用すると、火災・感電・落下などに至る場合があります。

使用上のご注意

- この照明器具の光源は交換しないでください。
- LEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。
- LEDにはバラツキがあるため、LEDユニット内のLED個々および同一品番、シリーズ品番で発光色、明るさが異なる場合があります。あらかじめご了承ください。
- LEDユニットは、設計上、LEDを搭載しておらず点灯しない部分があります。あらかじめご了承ください。
- 調光時にビデオカメラ、防犯カメラの画像に縞模様やチラツキが発生する可能性があります。
- 調光器と組み合わせて使用する場合、下記のような状態がありますが、異常ではありません。
 - ・同一器具、またはシリーズ器具で点灯および消灯時のフェードのしかたに違いの出ることがあります。
 - ・電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりすることがあります。
- ライトマネージャーFxと組み合わせて使用する場合、器具の電源をONした状態で調光器の電源をON・OFFすると、瞬間的に消灯することがありますが、異常ではありません。
- 信号線式ライトコントローラと組み合わせて使用する場合、コントローラの設定を調光下限付近にした状態で、コントローラの電源をONの状態からOFFにし、1~2秒後に再度ONした場合、照度が瞬間的に高くなる場合があります。

保証について

- 1:保証について
この商品の保証期間は1年間です。但し、LED電源は3年間です。消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。
- 2:保証書について
保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。
- 3:補修用性能部品(電気部品)について
弊社はこの照明器具の補修用性能部品(電気部品)を製造打ち切り後、6年間保有しています。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

お手入れについて

- 器具の清掃について・・・汚れを落とす場合は、石けん水にひたしたやわらかい布をよく絞ってふきとり、乾いた布で仕上げてください。アルカリ系洗剤、シンナー、ベンジンでふかないでください。変色・変質の原因となります。強い水圧をかけての清掃はしないでください。感電の原因となります。



注意

- 必ず電源を切って行ってください。感電・やけどの原因となります。

定 格

品番	定格電圧	入力電流	消費電力	周波数
NYS36435KLE2	-	-	-	50/60Hz
NYS36445KLE2	AC200V	1.21A	240W	
NYS36455KLE2	AC242V	0.99A	238W	
NYS36235KLE9 NYS36245KLE9	AC100V	1.48A	147W	
	AC200V	0.75A	143W	
	AC242V	0.63A	142W	
NYS36255KLE9	AC100V	1.30A	129W	
	AC200V	0.67A	126W	
	AC242V	0.57A	124W	
NYS36135KLE9 NYS36145KLE9 NYS36155KLE9	AC100V	1.01A	98.4W	
	AC200V	0.50A	97.6W	
	AC242V	0.41A	97.0W	

- LED照明器具の光束維持時間は、60,000時間(光束維持率85%)です。
- リサイクル 照明器具を廃棄する場合は、法に基づいて適切に処理してください。

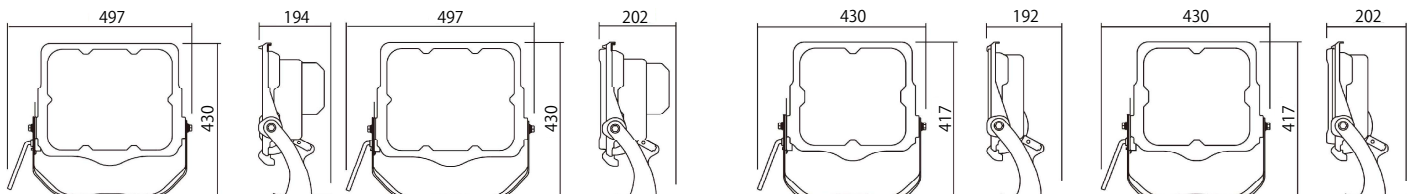
器具外形寸法図

NYS364**KLE2 (**=35, 45)
中角/広角タイプ

NYS36455KLE2
拡散タイプ

NYS361**KLE9 (**=35, 45)
NYS362**KLE9 (**=35, 45)
中角/広角タイプ

NYS36155KLE9
NYS36255KLE9
拡散タイプ



パナソニック エレクトリックワークス株式会社 〒571-8686 大阪府門真市門真 1048

お問い合わせ先 照明器具・ランプ商品ご相談窓口 <https://sumai.panasonic.jp/support/>

0120-187-441 (フリーダイヤル) 【受付時間】月～土/9:00～18:00 (祝日・三が日を除く) ※携帯電話からのご利用になれます。
0120-872-460 (FAX)